

学校施設の更なる活用に関する市民アンケート 調査結果

調査の概要

1 目的

府中市では、公共施設（建築物）を自治体経営の視点から総合的に企画、管理及び有効活用していくため、公共施設マネジメントの取組を推進しており、平成26年8月には、各施設における検討内容やスケジュールなどを定めた「第1次府中市公共施設マネジメント推進プラン」を策定しました。同プランでは、取組全体の推進力を高めていくためのモデル事業を定めており、今年度は「学校施設の更なる活用」として、様々な機能を有する学校施設の更なる活用に向け、機能が重複する学校プールと地域プールの課題の整理や活用方法、学校施設の複合化など、将来を見据えた検討を行っています。

この検討に当たり、学校施設等に関する市民の皆様のご意見をお伺いするため、アンケート調査を実施しました。

2 対象者及び実施方法

(1) 対象者

住民基本台帳より無作為に抽出した20歳以上の市民

(2) 実施方法

郵送によるアンケートの配布・回収

3 配付者数及び回答者数

配付者数	3,000人
回答者数	1,013人
回答率	33.8%

4 内容

学校施設等の更なる活用に向けた、現状把握と意見の募集

5 期間

平成27年9月15日～平成27年10月13日

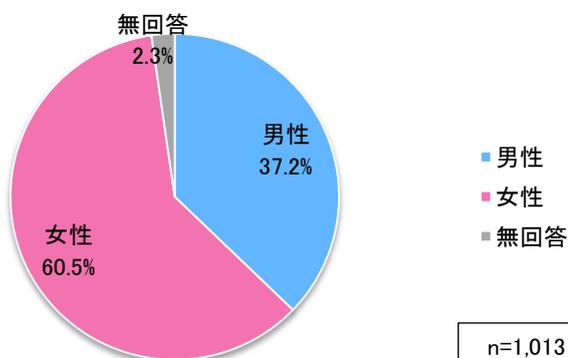
調査結果

次のページより、各設問に対する回答の集計結果を掲載します。

なお、集計結果から作成したグラフと表中の割合（％）は、端数処理の関係で必ずしも合致しない、または100%とならない場合があります。

0. 回答者の属性

あなたの性別は？

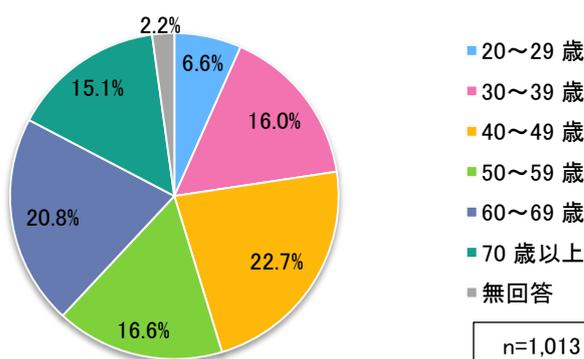


選択内容	回答者数	割合
男性	377	37.2%
女性	613	60.5%
無回答	23	2.3%

n=1,013

- 回答者のうち、全体の6割を女性が占めます。

あなたの年齢は？

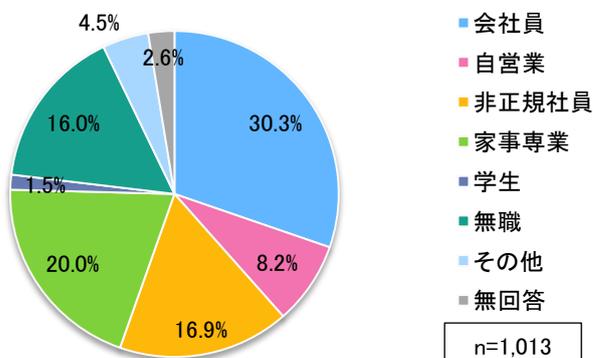


選択内容	回答者数	割合
20~29歳	67	6.6%
30~39歳	162	16.0%
40~49歳	230	22.7%
50~59歳	168	16.6%
60~69歳	211	20.8%
70歳以上	153	15.1%
無回答	22	2.2%

n=1,013

- 20歳代の回答率が低いですが、比較的全ての年代からバランス良く回答を得ています。

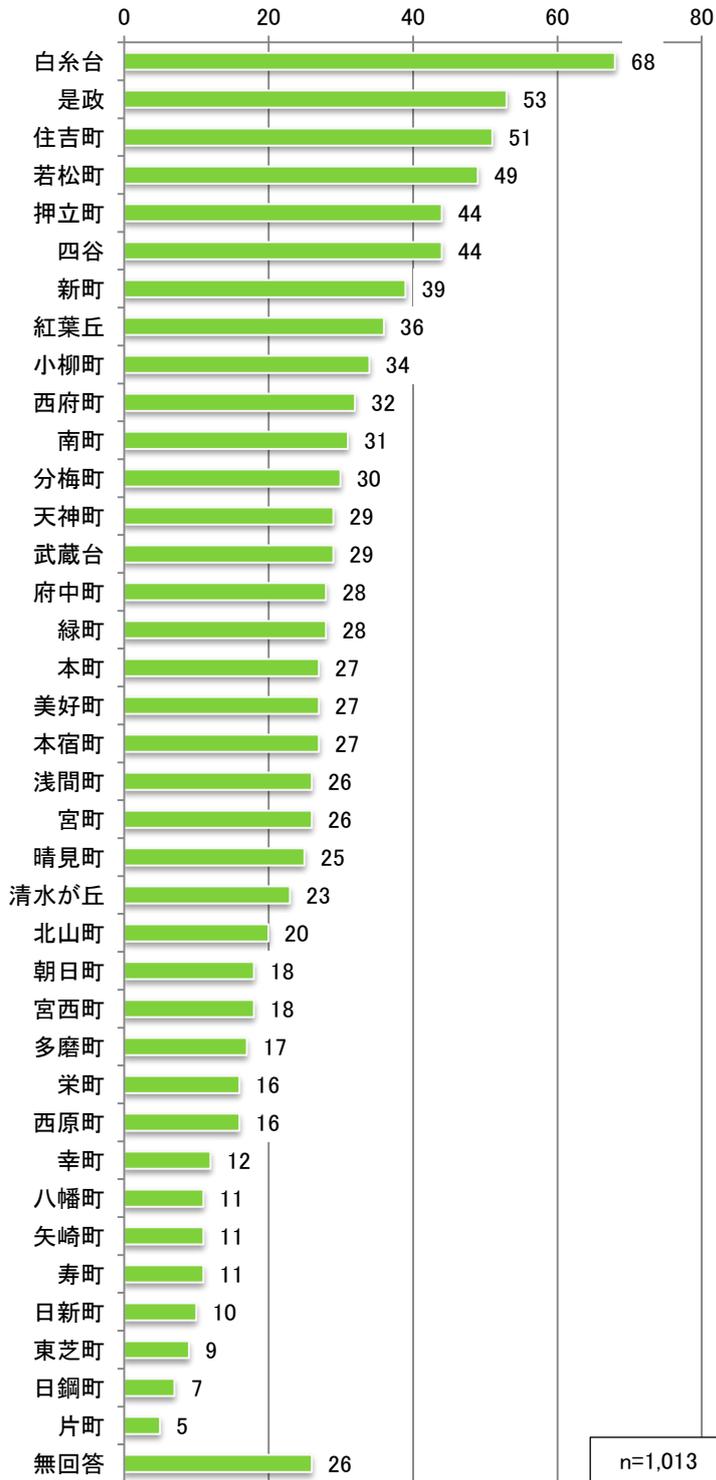
あなたの職業は？



選択内容	回答者数	割合
会社員	307	30.3%
自営業	83	8.2%
非正規社員	171	16.9%
家事専業	203	20.0%
学生	15	1.5%
無職	162	16.0%
その他	46	4.5%
無回答	26	2.6%

n=1,013

あなたのお住まいの地域は？



選択肢	回答者数	割合
白糸台	68	6.7%
是政	53	5.2%
住吉町	51	5.0%
若松町	49	4.8%
押立町	44	4.3%
四谷	44	4.3%
新町	39	3.8%
紅葉丘	36	3.6%
小柳町	34	3.4%
西府町	32	3.2%
南町	31	3.1%
分梅町	30	3.0%
天神町	29	2.9%
武蔵台	29	2.9%
府中町	28	2.8%
緑町	28	2.8%
本町	27	2.7%
美好町	27	2.7%
本宿町	27	2.7%
浅間町	26	2.6%
宮町	26	2.6%
晴見町	25	2.5%
清水が丘	23	2.3%
北山町	20	2.0%
朝日町	18	1.8%
宮西町	18	1.8%
多磨町	17	1.7%
栄町	16	1.6%
西原町	16	1.6%
幸町	12	1.2%
八幡町	11	1.1%
矢崎町	11	1.1%
寿町	11	1.1%
日新町	10	1.0%
東芝町	9	0.9%
日鋼町	7	0.7%
片町	5	0.5%
無回答	26	2.6%

1. 公共施設マネジメントの方策について

市民共有の財産である公共施設について、将来の市民に負担を先送りすることなく、適切に引き継いでいくためには、様々な視点で検討する必要があります。各方策について、どのようにお考えになりますか。

- 1 実施すべき
- 2 どちらかと言えば実施すべき
- 3 どちらかと言えば実施すべきでない
- 4 実施すべきではない

【集計結果1 ①～⑧各項目の集計結果】

選択内容		回答者数 (割合)				
		1	2	3	4	無回答
総量圧縮	現在ある施設の統廃合や機能の複合化・共用化によって施設の総量を減らす	373 (36.8%)	400 (39.5%)	154 (15.2%)	61 (6.0%)	25 (2.5%)
広域連携	近隣自治体と共同で施設を建設・運営する	320 (31.6%)	386 (38.1%)	194 (19.2%)	91 (9.0%)	22 (2.2%)
公民連携	施設の更新や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	462 (45.6%)	408 (40.3%)	91 (9.0%)	31 (3.1%)	21 (2.1%)
地域へ移管	地域に密着した施設は、地域住民等が所有し、維持管理を行う	148 (14.6%)	308 (30.4%)	371 (36.6%)	156 (15.4%)	30 (3.0%)
長寿命化	建替えではなく、現在の施設を改修し、できるだけ長い間使用する	413 (40.8%)	412 (40.7%)	119 (11.7%)	43 (4.2%)	26 (2.6%)
売却・貸付け	施設の一部や土地の売却・貸付けによって収入を得る	377 (37.2%)	421 (41.6%)	136 (13.4%)	49 (4.8%)	30 (3.0%)
水準引下げ	施設におけるサービス水準を全国的な水準などを参考に引き下げる	174 (17.2%)	294 (29.0%)	357 (35.2%)	156 (15.4%)	32 (3.2%)
料金引上げ	使用料を徴収できる施設では、使用料を引き上げる	228 (22.5%)	312 (30.8%)	318 (31.4%)	124 (12.2%)	31 (3.1%)

【回答者数】1,013

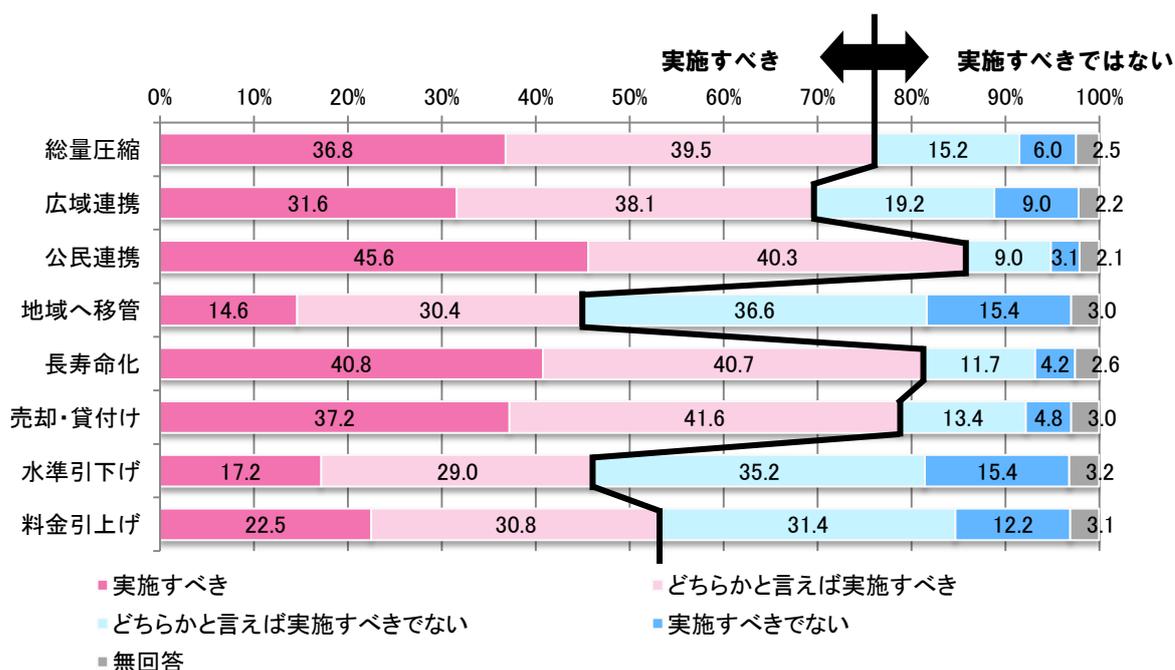
「⑨ その他」として挙がった意見（主な意見）

- 施設をもっとPRをした方が良い。
- 現在の運営や人件費の見直し、削減が先である。
- 駐車場等は現在無料の設備を一部有料化してもよい。
- 子育て世代に配慮した活用方法が望ましい。

【集計結果2 肯定的意見（1+2）と否定的意見（3+4）の集計結果】

選択内容		回答者数 (割合)		
		1+2	3+4	無回答
総量圧縮	現在ある施設の統廃合や機能の複合化・共用化によって施設の総量を減らす	773 (76.3%)	215 (21.2%)	25 (2.5%)
広域連携	近隣自治体と共同で施設を建設・運営する	706 (69.7%)	285 (28.1%)	22 (2.2%)
公民連携	施設の更新や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	870 (85.9%)	122 (12.0%)	21 (2.1%)
地域へ移管	地域に密着した施設は、地域住民等が所有し、維持管理を行う	456 (45.0%)	527 (52.0%)	30 (3.0%)
長寿命化	建替えではなく、現在の施設を改修し、できるだけ長い間使用する	825 (81.4%)	162 (16.0%)	26 (2.6%)
売却・貸付け	施設の一部や土地の売却・貸付けによって収入を得る	798 (78.8%)	185 (18.3%)	30 (3.0%)
水準引下げ	施設におけるサービス水準を全国的な水準などを参考に引き下げる	468 (46.2%)	513 (50.6%)	32 (3.2%)
料金引上げ	使用料を徴収できる施設では、使用料を引き上げる	540 (53.3%)	442 (43.6%)	31 (3.1%)

- 「実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」の合計（肯定的な意見）が50%を超えているのは、『総量圧縮』（76.3%）、『広域連携』（69.7%）、『公民連携』（85.9%）、『長寿命化』（81.4%）、『売却・貸付け』（78.8%）、『料金引上げ』（53.3%）です。特に、『公民連携』と『長寿命化』については、80%以上と多数を占めています。
- 「実施すべきではない」と「どちらかといえば実施すべきではない」の合計（否定的な意見）が50%を超えているのは、『地域への移管』（52.0%）と、『水準引下げ』（50.6%）です。



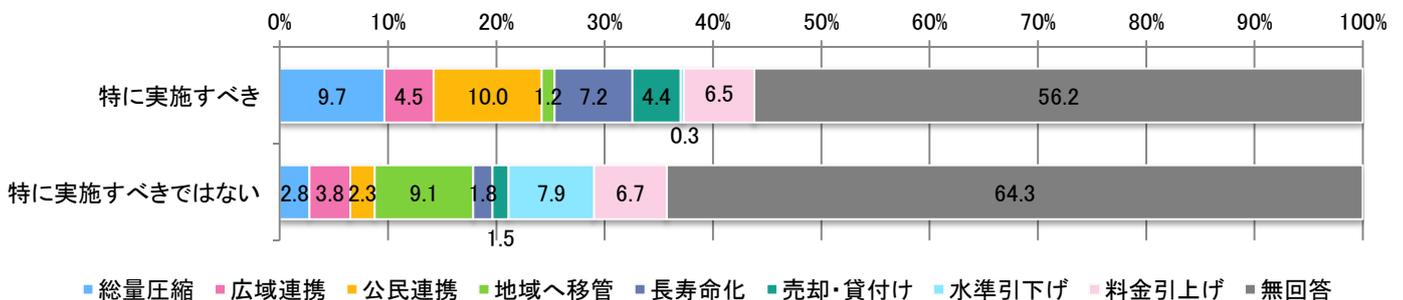
①～⑧までの方策で、特に「実施すべき」あるいは「実施すべきでない」と思うものがございましたら、それぞれ該当する方策を1つ選択してください。

◆特に「実施すべき」方策

選択内容	回答者数	割合
①現在ある施設の統廃合や機能の複合化・共用化によって施設の総量を減らす	98	9.7%
②近隣自治体と共同で施設を建設・運営する	46	4.5%
③施設の更新や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	101	10.0%
④地域に密着した施設は、地域住民等が所有し、維持管理を行う	12	1.2%
⑤建替えではなく、現在の施設を改修し、できるだけ長い間使用する	73	7.2%
⑥施設の一部や土地の売却・貸付けによって収入を得る	45	4.4%
⑦施設におけるサービス水準を全国的な水準などを参考に引き下げる	3	0.3%
⑧使用料を徴収できる施設では、使用料を引き上げる	66	6.5%
⑨特になし・無回答	569	56.2%

◆特に「実施すべきでない」方策

選択内容	回答者数	割合
①現在ある施設の統廃合や機能の複合化・共用化によって施設の総量を減らす	28	2.8%
②近隣自治体と共同で施設を建設・運営する	38	3.8%
③施設の更新や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	23	2.3%
④地域に密着した施設は、地域住民等が所有し、維持管理を行う	92	9.1%
⑤建替えではなく、現在の施設を改修し、できるだけ長い間使用する	18	1.8%
⑥施設の一部や土地の売却・貸付けによって収入を得る	15	1.5%
⑦施設におけるサービス水準を全国的な水準などを参考に引き下げる	80	7.9%
⑧使用料を徴収できる施設では、使用料を引き上げる	68	6.7%
⑨特になし・無回答	651	64.3%



各方策の実施すべき理由及び実施すべきではない理由（主な意見）

① 現在ある施設の統廃合や機能の複合化・共用化によって施設の総量を減らす

特に実施すべき理由	機能が重複している、または数が多すぎるので、統廃合した方が合理的。
	予算が限られているので、数を抑えることは仕方ない。コストの削減になる。
	少子高齢化と共に利用者が減っていくと考えられるため。
特に実施すべきでない理由	郊外部の施設がなくなって空白地帯が出たり、地域ごとの公平性に問題が出る。
	距離が遠くなってしまうと行きづらくなるなど、利便性が下がる。
	建替えによるコストが心配である。

② 近隣自治体と共同で施設を建設・運営する

特に実施すべき理由	近隣自治体の方が近くて利用しやすい場合がある。
	共同運用した方が良い。効率化・充実化する。
	近隣自治体とのコミュニケーションが増える。利用が増えることで活気が出る。
特に実施すべきでない理由	近隣自治体の財政状態が良くないところもあり、不安である。
	責任の所在が不明瞭になる。
	自治体同士で調和を取ることが難しい。

③ 施設の更新や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する

特に実施すべき理由	民間の力を活用し、無駄を省く方法を学ぶべきである。
	+αの要素として、サービスの向上などについて、民間の発想に期待できる。
	民間になると画一的でなく、開放時間の融通などが利く。
特に実施すべきでない理由	民間になって利用料が上がる可能性がある。
	公平性や利便性への疑問が生じる。

④ 地域に密着した施設は、地域住民等が所有し、維持管理を行う

特に実施すべき理由	人材の活用機会が増えるなど、市民の働く環境ができる。
	事務の効率化ができる。
特に実施すべきでない理由	地域の住民に負担がかかる。
	住民が管理することによる安全性への疑問がある。
	素人の管理能力に疑問がある。地域ごとに管理レベルにばらつきが出る。
	今後、利用や管理負担の公平性などでトラブルが発生することが心配。

⑤ 建替えではなく、現在の施設を改修し、できるだけ長い間使用する

特に実施すべき理由	使えるものは長く使う努力をするべき。
	建設業界は人件費が高騰していることもあり、余分な経費やコストなどは抑えるべき。
	改修で問題ない、あるいは十分なため。
特に実施すべきでない理由	修復には限度があり、いずれまた改修は必要になる。
	限られたニーズの公共施設を中途半端に改修してお金をかけても、住民の福祉向上につながらない。いっそなくすべき。

⑥ 施設の一部や土地の売却・貸付けによって収入を得る

特に実施すべき理由	収益が上がるのはよい。
	土地や施設の有効利用になる。
	民間に貸し付けることで(コンビニなどが入れば)利便性が向上するから。
特に実施すべきでない理由	土地を売却することでどのような環境変化が起こるか不安がある。利用方法に注意を払うべき。
	たいていはマンションや建売住宅が建つため。
	方法によるが、近視眼的判断に陥りやすい。長期的視野に立って考えるべき。一度売却してしまったら、今後の再取得が困難になる。

⑦ 施設におけるサービス水準を全国的な水準などを参考に引き下げる

特に実施すべき理由	※該当なし
特に実施すべきでない理由	高いサービス水準は府中市の魅力である為、維持してほしい。
	サービス水準が下がると利用者が減るのではないか。
	現在のサービス水準が高いとは思えない。
	他の地域と比較といった、サービス水準について相対的な判断をするべきではない。

⑧ 使用料を徴収できる施設では、使用料を引き上げる

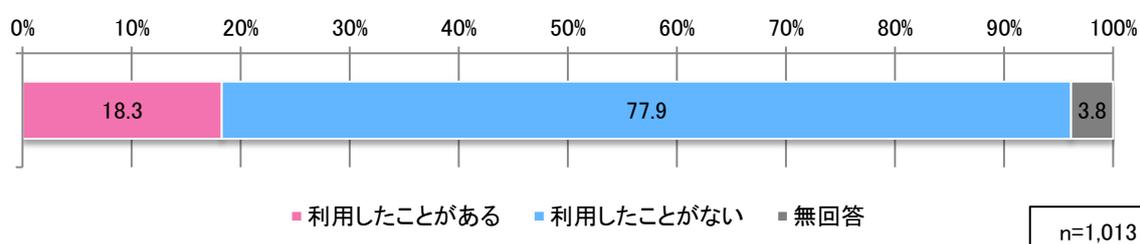
特に実施すべき理由	現在の利用料が安すぎる。
	利用者が限られているから、たくさん使う人が多く負担するべき。(受益者負担)
	使用料引き上げにより施設が維持できるならば、致し方ない。
特に実施すべきでない理由	負担が増えてしまうと、利用者が減るのではないか。
	安い方が利用しやすい。(あるいは今利用しているのは安いからである。)
	利用者を増やす方の工夫をするべき
	「公共」メリットがなくなる。

2. モデル事業2「学校施設の更なる活用」について

(1) 現在の学校施設の一般開放について

- ① 市では、登録した市民団体に対して、教育上支障のない範囲で、夜間や休日に学校の校庭や体育館、武道館の開放を行っています。
学校施設の一般開放を利用したことがありますか。

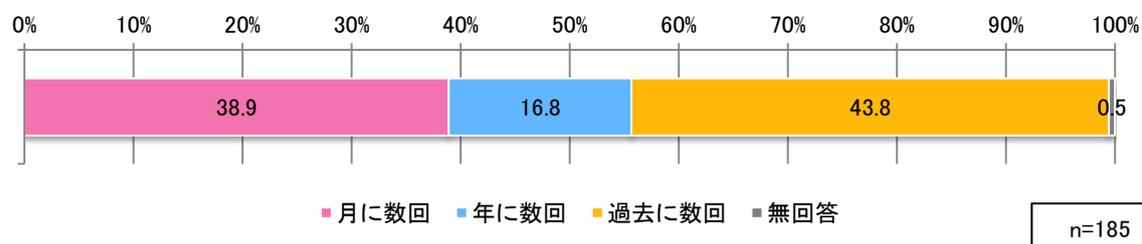
選択内容	回答者数	割合
利用したことがある	185	18.3%
利用したことがない	789	77.9%
無回答	39	3.8%



- 利用したことがある人はあまり多くなく、約80%の人は利用したことがない状況です。

- ② ①で「利用したことがある」と回答した方は、どのくらいの頻度で利用していますか。

選択内容	回答者数	割合
月に数回	72	38.9%
年に数回	31	16.8%
過去に数回	81	43.8%
無回答	1	0.5%



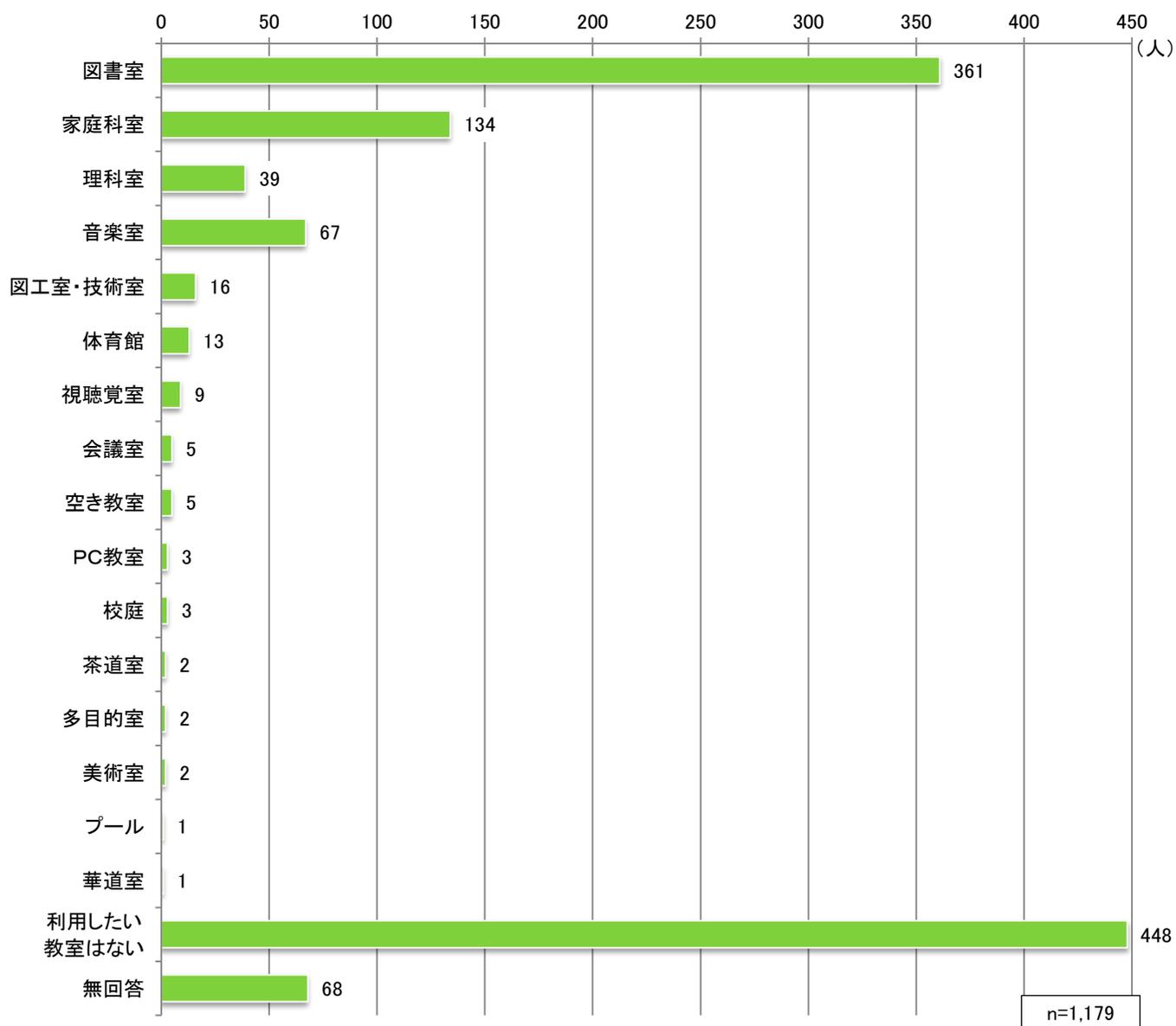
- 利用頻度は、「月に数回」と「過去に数回」のという2つの傾向に分かれています。

③ 校舎内の図書室や家庭科室などの教室は、現在一般開放を行っておりませんが、仮に、教育上支障のない範囲で、開放されたら、利用したい教室はありますか。(複数回答可)

- 1 図書室を利用したい
- 2 家庭科室を利用したい
- 3 理科室を利用したい
- 4 上記以外の部屋を利用したい
- 5 利用したい部屋はない

選択内容		回答数	割合
図書室を利用したい		361	35.6%
家庭科室を利用したい		134	13.2%
理科室を利用したい		39	3.8%
上記以外の部屋を利用したい		129	13.1%
「上記以外の部屋を利用したい」 で挙げた教室の内訳	音楽室	67	6.6%
	図工室・技術室	16	1.6%
	体育館	13	1.3%
	視聴覚室	9	0.9%
	会議室	5	0.5%
	空き教室	5	0.5%
	PC 教室	3	0.3%
	校庭	3	0.3%
	茶道室	2	0.2%
	多目的室	2	0.2%
	美術室	2	0.2%
	プール	1	0.1%
華道室	1	0.1%	
利用したい部屋はない		448	44.2%
無回答		68	6.7%

【回答者数】1,013 【回答総数】1,179



- 「利用したい教室がない」と回答した人が最も多くなっています。
- 利用したい教室としては、図書室が最も多く、また、「上記以外の部屋を利用したい」の中では、「音楽室」が多く挙がっています。

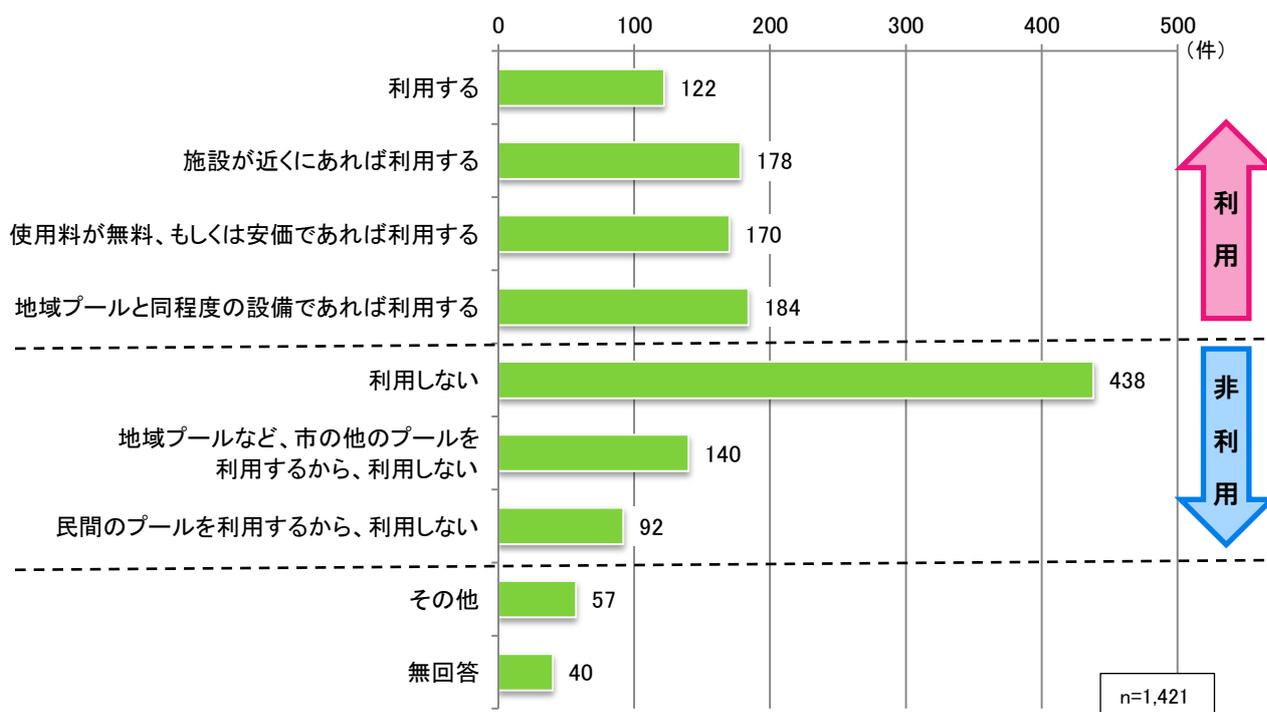
(2) 学校プールの一般開放について

学校の夏休みなどの空いている時間に、学校プールを市民などに開放している自治体もあります。現在、市では学校プールの一般開放を行っていませんが、仮に、学校が夏休みの期間中、既存の学校プールを開放した場合、利用しますか。(複数回答可)

- 【条件】①屋外プール、更衣室、トイレ、シャワーは学校の施設を使用
 ②監視員が常駐
 ③日中のみ開放

	選択内容	回答数	
(利用)/ (条件付きで 利用)	利用する	122	654
	施設が近くにあれば利用する	178	
	使用料が無料、もしくは安価であれば利用する	170	
	地域プールと同程度の設備(更衣室やトイレなど)であれば利用する	184	
(非利用)	利用しない	438	670
	地域プールなど、市の他のプールを利用するから、利用しない	140	
	民間のプールを利用するから、利用しない	92	
その他		57	
無回答		40	

【回答者数】1,013 【回答総数】1,421



「その他」の意見（主なもの）

- 小さな子どもがいれば利用するが、今はいないため。
 - （高齢など）年齢の関係で利用しない。
 - 利用時間や水深など、条件が合わない。
 - セキュリティ、防犯体制に不安がある。（ロッカーなどの防犯設備が整っていれば、利用したい。）
-
- 条件付きの場合を含め、「利用する」（654 件）と、「利用しない」（670 件）は、同程度の回答です。
 - 場所の利便性、使用料、設備内容といった条件による利用の可能性については、それぞれ同程度の回答です。

(3) プールの利用状況等について

① 今年の夏（7月18日から8月31日までの間）にプールを何回利用しましたか。
 利用した場合は、該当する利用回数を、利用しなかった場合は、その理由を1つ選んでください。

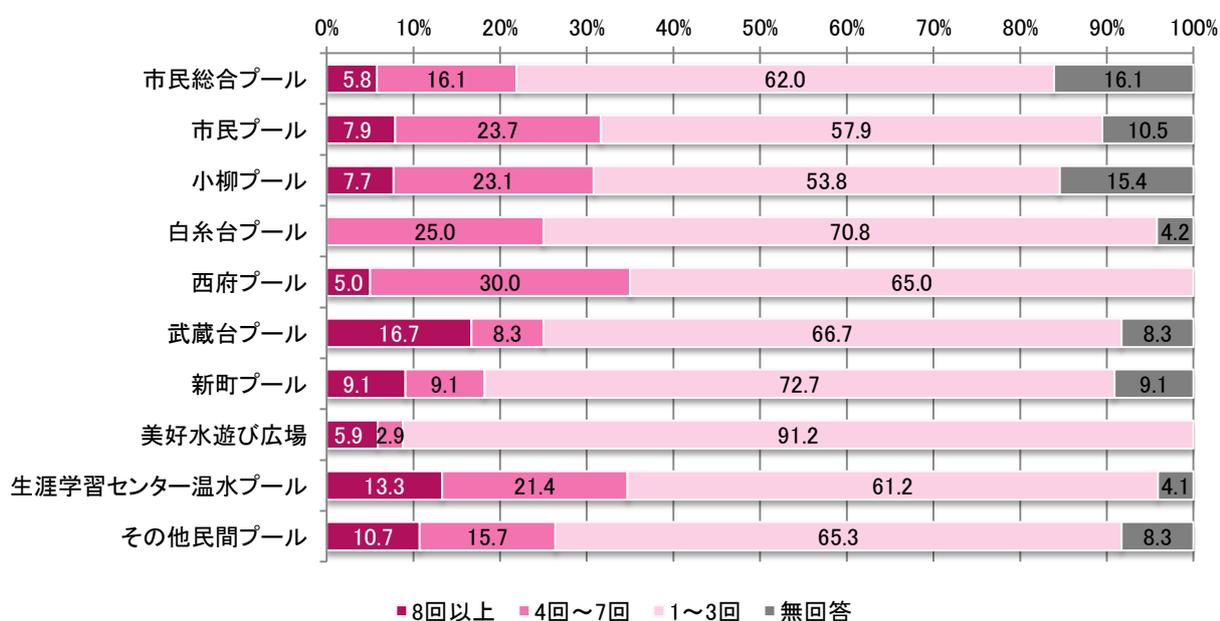
【利用者と非利用者】

施設名	利用者数 (割合)	非利用者数 (割合)	無回答 (割合)
市民総合プール(郷土の森総合プール)	137 (13.5%)	807 (79.7%)	69 (6.8%)
市民プール	38 (3.8%)	888 (87.7%)	87 (8.6%)
小柳プール	13 (1.3%)	901 (88.9%)	99 (9.8%)
白糸台プール	24 (2.4%)	895 (88.4%)	94 (9.3%)
西府プール	20 (2.0%)	898 (88.6%)	95 (9.4%)
武蔵台プール	12 (1.2%)	879 (86.8%)	122 (12.0%)
新町プール	11 (1.1%)	879 (86.8%)	123 (12.1%)
美好水遊び広場	34 (3.4%)	854 (84.3%)	125 (12.3%)
生涯学習センター温水プール	98 (9.7%)	805 (79.5%)	110 (10.9%)
その他民間のプール(市外含む)	121 (11.9%)	772 (76.2%)	120 (11.8%)



【利用者の利用回数】

施設名	利用者数	利用回数			
		8回以上	4～7回	1～3回	無回答
市民総合プール(郷土の森総合プール)	137	8 (5.8%)	22 (16.1%)	85 (62.0%)	22 (16.1%)
市民プール	38	3 (7.9%)	9 (23.7%)	22 (57.9%)	4 (10.5%)
小柳プール	13	1 (7.7%)	3 (23.1%)	7 (53.8%)	2 (15.4%)
白糸台プール	24	0 (0.0%)	6 (25.0%)	17 (70.8%)	1 (4.2%)
西府プール	20	1 (5.0%)	6 (30.0%)	13 (65.0%)	0 (0.0%)
武蔵台プール	12	2 (16.7%)	1 (8.3%)	8 (66.7%)	1 (8.3%)
新町プール	11	1 (9.1%)	1 (9.1%)	8 (72.7%)	1 (9.1%)
美好水遊び広場	34	2 (5.9%)	1 (2.9%)	31 (91.2%)	0 (0.0%)
生涯学習センター温水プール	98	13 (13.3%)	21 (21.4%)	60 (61.2%)	4 (4.1%)
その他民間プール(市外含む)	121	13 (10.7%)	19 (15.7%)	79 (65.3%)	10 (8.3%)



- いずれのプールでも「1～3回」の利用者が、半数以上を占めています。
- 利用回数については、プールによる大きな差は見られません。

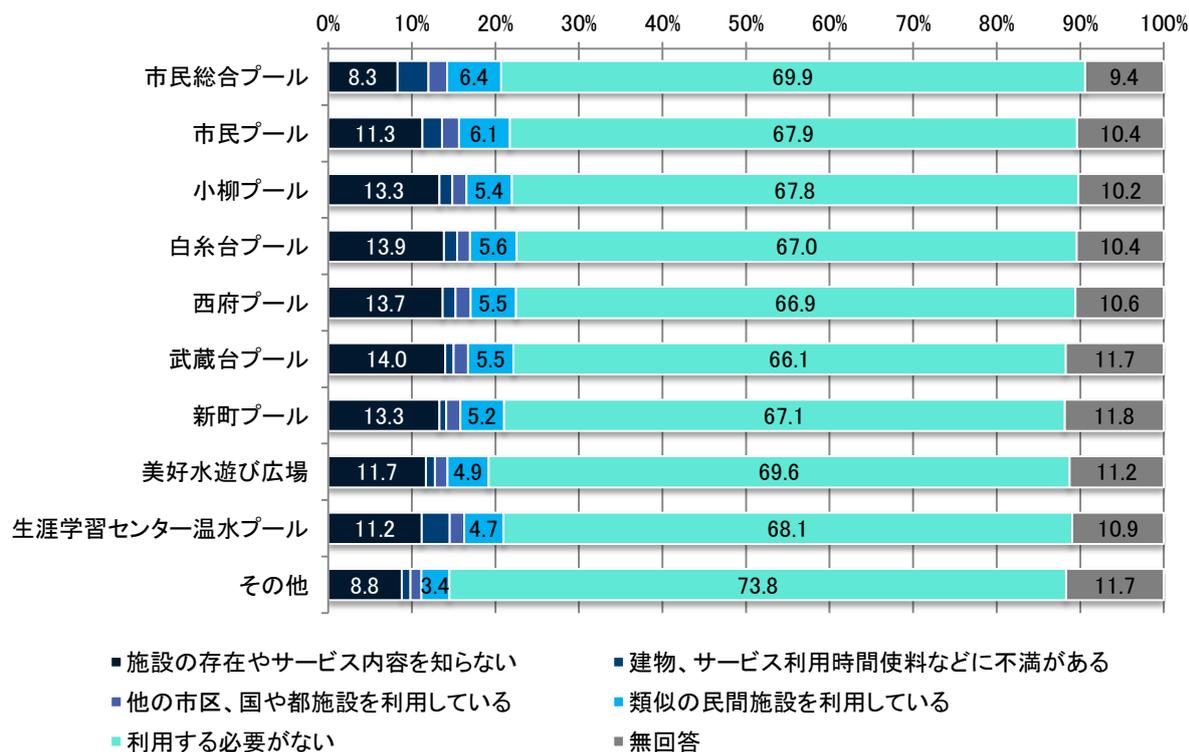
【参考 非利用者も含めた利用回数の比較】

施設名	利用者				非利用者 (利用回数 0 回)	無回答
	利用回数 8 回以上	利用回数 4～7 回	利用回数 1～3 回	利用回数 不明		
市民総合プール (郷土の森総合プール)	8 (0.8%)	22 (2.2%)	85 (8.4%)	22 (2.2%)	807 (79.7%)	69 (6.8%)
市民プール	3 (0.3%)	9 (0.9%)	22 (2.2%)	4 (0.4%)	888 (87.7%)	87 (8.6%)
小柳プール	1 (0.1%)	3 (0.3%)	7 (0.7%)	2 (0.2%)	901 (88.9%)	99 (9.8%)
白糸台プール	0 (0.0%)	6 (0.6%)	17 (1.7%)	1 (0.1%)	895 (88.4%)	94 (9.3%)
西府プール	1 (0.1%)	6 (0.6%)	13 (1.3%)	0 (0.0%)	898 (88.6%)	95 (9.4%)
武蔵台プール	2 (0.2%)	1 (0.1%)	8 (0.8%)	1 (0.1%)	879 (86.8%)	122 (12.0%)
新町プール	1 (0.1%)	1 (0.1%)	8 (0.8%)	1 (0.1%)	879 (86.8%)	123 (12.1%)
美好水遊び広場	2 (0.2%)	1 (0.1%)	31 (3.1%)	0 (0.0%)	854 (84.3%)	125 (12.3%)
生涯学習センター 温水プール	13 (1.3%)	21 (2.1%)	60 (5.9%)	4 (0.4%)	805 (79.5%)	110 (10.9%)
その他民間プール (市外含む)	13 (1.3%)	19 (1.9%)	79 (7.8%)	10 (1.0%)	772 (76.2%)	120 (11.8%)

【利用しなかった理由】

- ア 施設の存在やサービス内容を知らない
- イ 建物、サービス、利用時間、使用料などに不満がある
- ウ 他の地区、国や都の施設を利用している
- エ 類似の民間施設を利用している
- オ 利用する必要がない

施設名	非利用者数	利用しなかった理由					
		ア	イ	ウ	エ	オ	無回答
市民総合プール (郷土の森総合プール)	807	67 (8.3%)	30 (3.7%)	18 (2.2%)	52 (6.4%)	564 (69.9%)	76 (9.4%)
市民プール	888	100 (11.3%)	21 (2.4%)	18 (2.0%)	54 (6.1%)	603 (67.9%)	92 (10.4%)
小柳プール	901	120 (13.3%)	14 (1.6%)	15 (1.7%)	49 (5.4%)	611 (67.8%)	92 (10.2%)
白糸台プール	895	124 (13.9%)	14 (1.6%)	14 (1.6%)	50 (5.6%)	600 (67.0%)	93 (10.4%)
西府プール	898	123 (13.7%)	14 (1.6%)	16 (1.8%)	49 (5.5%)	601 (66.9%)	95 (10.6%)
武蔵台プール	879	123 (14.0%)	9 (1.0%)	15 (1.7%)	48 (5.5%)	581 (66.1%)	103 (11.7%)
新町プール	879	117 (13.3%)	7 (0.8%)	15 (1.7%)	46 (5.2%)	590 (67.1%)	104 (11.8%)
美好水遊び広場	854	100 (11.7%)	9 (1.1%)	13 (1.5%)	42 (4.9%)	594 (69.6%)	96 (11.2%)
生涯学習センター 温水プール	805	90 (11.2%)	27 (3.4%)	14 (1.7%)	38 (4.7%)	548 (68.1%)	88 (10.9%)
その他民間プール (市外含む)	772	68 (8.8%)	8 (1.0%)	10 (1.3%)	26 (3.4%)	570 (73.8%)	90 (11.7%)

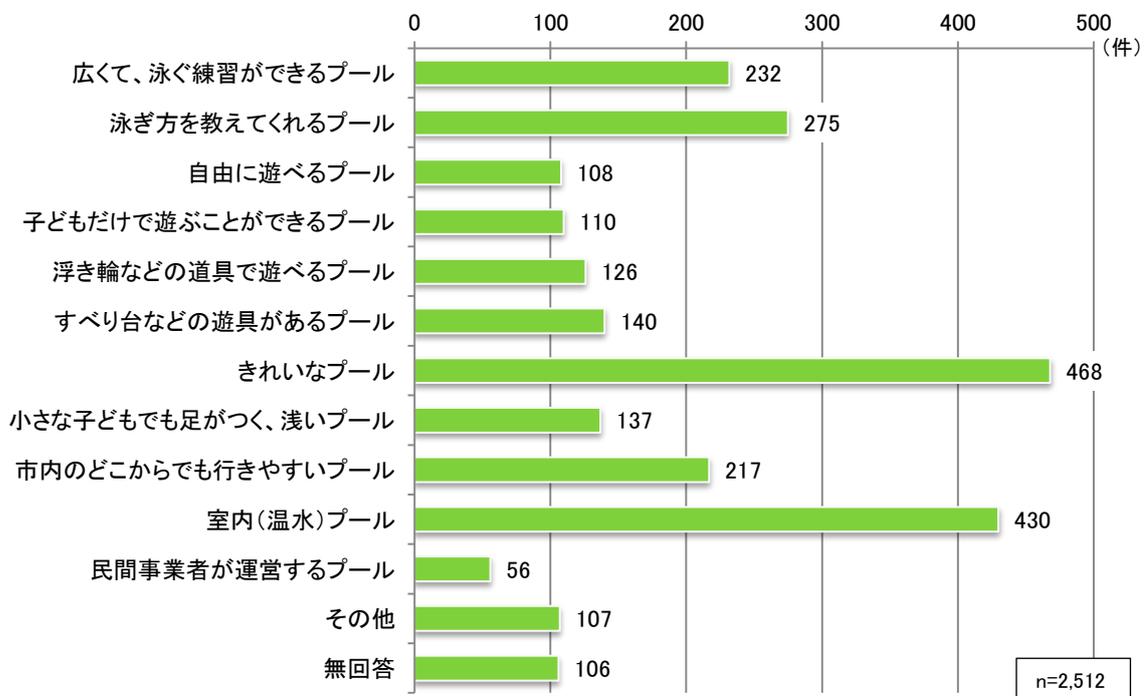


- 利用しなかった理由は、「利用する必要がない」が半数以上を占めますが、次いで、「施設の存在やサービス内容を知らない」が、全てのプールで一定程度みられます。

② プールの利用者数は、ピーク時に比べて減少しています。
 今後、市が整備するプールの利用者を増やすために、安全性に加え、必要と考える要素を選択してください。（3つまで選択可）

選択内容	回答数	割合
広くて、泳ぐ練習ができるプール	232	22.9%
泳ぎ方を教えてくれるプール	275	27.1%
自由に遊べるプール	108	10.7%
子どもだけで遊ぶことができるプール	110	10.9%
浮き輪などの道具で遊べるプール	126	12.4%
すべり台などの遊具があるプール	140	13.8%
きれいなプール	468	46.2%
小さな子どもでも足がつく、浅いプール	137	13.5%
市内のどこからでも行きやすいプール	217	21.4%
室内(温水)プール	430	42.4%
民間事業者が運営するプール	56	5.5%
その他	107	10.6%
無回答	106	10.5%

【回答者数】1,013 【回答総数】2,512



「その他」の意見（主なもの）

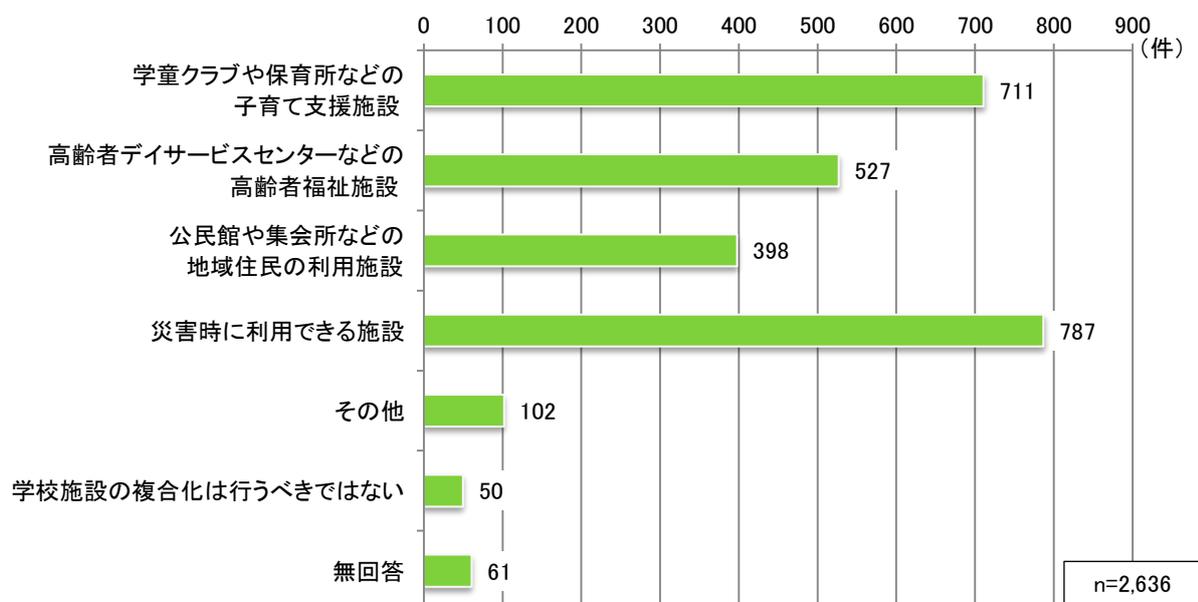
- 健康増進の指導などがあるプール
 - レベル別にレーンが分かれており、ウォーキングも可能なプール
 - 子どもがいない、大人だけで利用できるプール
 - おむつの取れていない子でも利用できるプール
 - 駐車場があるプール
-
- 「きれいなプール」と「室内（温水）プール」を、必要な要素と回答した人が多くなっています。
 - アンケート対象者が20歳以上の市民ということで、「浮き輪などの道具で遊べるプール」や「すべり台などの遊具があるプール」といった子どもが求める要素を選択した方は、あまり多くありません。

(4) 学校施設の複合化について

学校施設の複合化について検討する場合、あなたはどのような施設と複合化することが効果的だと思いますか。（複数回答可）

選択内容	回答数	割合
学童クラブや保育所などの子育て支援施設	711	70.2%
高齢者デイサービスセンターなど的高齢者福祉施設	527	52.0%
公民館や集会所などの地域住民の利用施設	398	39.3%
災害時に利用できる施設	787	77.7%
その他	102	10.1%
学校施設の複合化は行うべきではない	50	4.9%
無回答	61	6.0%

【回答者数】1,013 【回答総数】2,636



「その他」の施設として挙げたもの

施設名	回答数
図書館	19
スポーツ施設(プール、体育館の共有含む)	16
医療施設	12
ホールや会議室などの公共施設	12
カルチャーセンター(大人向け)	11
市の出張所	9
カフェ・レストラン	6
障害者福祉施設	6
学習塾や習い事の施設	5
コンビニ、スーパー	4
オフィス、会議室など企業向け施設	3
高齢者が集う憩いの場	2

「学校の複合化を行うべきではない」の理由(主なもの)

- 子どもたちが勉強に集中できなくなる恐れがある。
 - 安全上、学校は極力人の出入りを控えるべきである。
 - 多機能にして良いことはない。教育施設は独立してあるべきである。
 - 狭い道路での車両の頻繁な出入りによる接触が心配される。
-
- 最も多い回答は、「災害時に利用できる施設」で、これは学校の体育館が一次避難所として利用できることも含まれています。
 - 学校施設と複合化する施設として、「子育て支援施設」という回答も多くなっています。これは、近年の市民ニーズや、利用者が児童生徒と重なる、もしくは近いということが考えられます。
 - 今後ますますニーズが高まる高齢者福祉の分野についても、学校施設の活用策の1つとして考えられます。

(5) 学校の複合化に当たって必要なこと

学校施設の複合化に当たって必要と考えることをご記入ください。（自由記述）

主な意見	回答数
学校機能(教育環境)を確保することについて (セキュリティの強化や学習環境の確保について等)	282
その他配慮すべき点について (バリアフリーや使いやすさについて等)	59
学校と複合化する機能について (複合化に適している施設、適していない施設等の意見)	214
複合化することで期待する効果について (世代間交流、地域のコミュニケーションが深まる等)	166
複合化について (複合化への賛成意見、反対意見等)	95
その他	21

【回答者数】573 【意見の件数】837

主な意見

- 児童生徒の利用するエリアには、部外者が立ち入らない等、安全確保が必要である。
- 子どもの安全が最優先である。最近子どもが巻き込まれる事件も多い。
- 衛生的である必要がある。
- 高齢者が増えるので、遊びに行けるような催しがあると良い。交流の場、地域づくりの拠点となる必要がある。
- 何かあった時に助け合える機能があると良い。災害時には避難所としての場所の提供が必要である。
- 企業の色々なアイデアを活用することも必要である。